

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

区議団 e-mail info@jcp-shinagawa.com

6月議会で提案しました

高齢者の入院時負担を軽減する条例

入院すると医療費の他にお金がかかります。そして、75歳以上の方は後期高齢者医療制度の保険料負担が重くなっています。「高齢者の医療費負担をなくしたい」1年前の区議選で掲げた公約の実現を求めて条例提案しました。

**医療費負担ゼロの社会
実現を目指して**

ヨーロッパの国々は年齢間
わず医療費無料が当たり前
です。日本も1980年代
は高齢者の医療費は無料で
した。また、東京都はマル
福制度といって65才以上
の高齢者医療費を無料にし
て多くの都民から喜ばれて
いました。

日本共産党区議団は、昨
年の区議選で医療費無料化
を公約に掲げました。その
ためにこの1年間、議会質
問で取り上げ続けてきまし
たが、区は「やらない」の
一点張りの答弁でした。

そこで、今回は条例をつ
くって提案することにしま
した。

**対象は75才以上のすべ
ての高齢者に月1万円
2億円で実現可能**

入院すると、医療費はも

ちろん、差額ベット代、パ
ジャマやバスタオルなどの
レンタル料、紙おむつ代な
どの諸雑費、さらに食事代
の負担もあり、医療費のほ
かに数万円かかり大きな負
担になっています。

そこで、少しでも負担軽減
に寄与できるようにと、入
院期間に給付できるように
月1万円を限度としました。
実現させるために必要な予
算は1年間で2億円です。

また、年齢は後期高齢者
医療費が始まったので所得
制限はつけず75才以上とし
ました。実施は来年1月1
日からです。



財源は充分にあります。

みなさんご存知のように
品川区の財政は、区長いわく
「健全財政」です。

昨年は、150億円も積み増し、
650億円もの貯金があります。
区民のために使うかどうかの姿
勢の問題です。



厚生委員会の質疑

渡辺委員(自民) 「(対象を)75才以上としているのはなぜか」

答弁(飯沼委員) 「現行の老人保険医療制度が75才になっているので、ここから支援したいと考えた」

阿部委員(民主) 「お金持ちの高齢者もいるのに所得制限なしとするのは、バランスに欠けるのではないか」

答弁 「所得の多い方は累進課税で応分の負担が求められる。医療は本来無料であるべきと思う」

鈴木委員(自民) 「財源はどうするのか」

答弁 「(1月1日実施予定なので、1年の四分の一分の予算)5750万円。充分可能。」

浅野委員(公明) 「月末の最終日に入院して、2・3日

で退院した場合、入院した月に1万円、その次の月に1万円、合計2万円。」

答弁 「そのとおり」

堺委員(公明) 「入院中の身の回りの費用と医療費の両方に使えるのか」

答弁 「そうです」

堺委員(公明) 「共産党の提案理由に気に入らない表現がある。『高齢者の暮らしは医療・年金・介護など社会保障の相次ぐ改悪』といっている。私は改悪とは思っていない。ただ、運用面において改善しなきゃならない点が多々ある、それは認めます。だから、せっかく提案してもこういう言葉に引かかって賛成というわけにはいかない。これは個人的な意見です。」

ご感想を聞かせてください。

最終本会議で宮崎幹事長が賛成討論

7月3日の区議会最終本会議で、「高齢者の入院負担軽減支援金支給条例」について賛成の立場から討論をしました。

その内容は、①医療費負担の軽減が高齢者の強い願いであること、②千代田区と新宿区がすでに実施していること、③区の財政は充分あることなどです。

都営住宅の募集があります。
申し込みはお急ぎください。

募集期間 7月8日まで

家族向け・地元割り当て
2人以上の家族向けです

応募用紙は地域センターにあります

不明な点は問い合わせてください

南恵子事務所
電話 (3790) 1523



このニュースをお読みになつて、ご意見やご要望などありましたら、お気軽にお寄せください。電話(3790)1523